



刈谷の ★輝く人



刈谷ですてきな活動をしている人を紹介します！



第15回信州馬子唄・武田節コンクール 信州馬子唄部門・大会総合優勝

すずき
鈴木 やよいさん

プロフィール

泉田町在住。全国各地の民謡大会に参加し、今回で合計18回の優勝を誇る。学生時代は演劇部に所属し、昔から声を出すことが得意。

11回目の挑戦で悲願の優勝

「ずっと挑戦し続けて、ようやく優勝できました。長い道程をようやく完走できたようでとてもうれしいです」と喜びを口にするのは、5月に長野県で行われた第15回信州馬子唄・武田節コンクールに出場した鈴木さん。長野県に伝わる民謡「信州馬子唄」と民謡曲の間に詩吟が入った「武田節」の歌唱力や表現力を競う大会で、全国から約140人の民謡愛好家が集結。鈴木さんは信州馬子唄部門で優勝し、武田節部門の優勝者と競った結果、見事総合優勝に輝きました。

歌い続けてきた唄で勝負

鈴木さんが民謡を始めたのは36年前。4人の子育てをしている中でストレス発散のため、趣味を持ちたいと近所の民謡教室に通い始めたことが本格的に唄に取り組むきっかけでした。子どもの頃から日本の民謡が好きで聴く機会が多かったこともあり、みるみるうちに上達。習い始めて10年ほど経った頃から各地の民謡大会に出場し始めました。

信州馬子唄・武田節コンクールには、華やかで三味線の伴奏が特徴的な「信濃追分^{しなのおいわけ}」を歌いたいのと思い、参加し始めました。信州馬子唄には信濃追分の他にもさまざまな唄があり、歴代優勝者のほとんどが素朴で力強い曲調の「小諸馬子唄^{こもろまごうた}」を選ぶことが多かったため、鈴木さんもどちらを披露するか最後まで迷いましたが、参加当初から歌い続けてきた信濃追分を選択。「たくさんの人にあなたの信濃追分が一番良いと言われてきて自信があったので、自分に合った好きな唄で勝負できて良かったです」と振り返ります。

民謡は生きがい

8月2日には栃木県で行われた大会でも入賞するなど、今でも月に2回ほど全国各地の大会に出場し続けている鈴木さん。「民謡があるからいろいろなことを頑張れるし、全国各地に民謡仲間が増えました」と笑顔で話します。

今後の目標は、全国大会優勝者から選出された約30人が出場する民謡日本一決定戦「今フェス」で歌唱すること。さらなる高みを目指して、鈴木さんはこれからも舞台上で歌い続けます。

★輝く人の原動力！

地域とのつながり

活動を知ってくれている人の声が励みになります。泉田の朝市でも唄を披露しました。



憧れのNHKホールでの歌唱

NHKホールという大きな舞台でも3回歌唱しました。この時の経験は今でも忘れません。

